

令和四年六月二日 開会  
令和四年六月魚津市議会定例会提出議案

市長提案理由説明要旨

本日ここに、令和四年六月魚津市議会定例会が開催されるにあたり、市政運営について所信の一端を申し述べますとともに、提案致しました案件について、その概要をご説明申し上げたいと存じますが、その前に、私の新型コロナウイルス感染症への感染について、お詫びを申し上げたいと存じます。

去る五月十五日に同居する家族の中で新型コロナウイルス感染症の陽性が判明し、私もその濃厚接触者となったことから、五月十六日以降、在宅にてリモートによる勤務を行い、自らが感染しないよう、また、感染が拡大しないよう細心の注意を払い、早期の職場復帰を目指してまいりました。

しかしながら、五月二十二日に行った抗原検査、PCR検査で陽性反応があったことから、新型コロナウイルス感染症に感染したことが判明し、直ちに市内の医療機関に入院して、療養に努めてまいりました。

幸い、感染による身体への影響も少なかったため、市政に停滞を招かぬよう、入院中もリモートで執務にあたっていたところですが、この間、議員各位をはじめ関係者の皆様、更には市民の皆様にご心配をおかけするとともに、大変ご迷惑をおかけしましたことを、心から深くお詫び申し上げます。

今回、自らが新型コロナウイルス感染症に感染したことで、その感染力の強さと予防対策の重要性を再認識したところです。

今後より慎重に感染対策に努め、市政発展にまい進してまいりますので、議員各位におかれましては、引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、次に本市における新型コロナウイルス感染症の状況等について説明申し上げます。

本市では、一昨年八月に感染者が確認されてから六月一日までの間に千三百八十八例目の感染者が確認されております。

また、五月十八日には、当市における一日あたりの感染者数としては過去最多となる三十七名の陽性者が確認されたところです。

本年三月から五月までの本市の感染状況を年代別で見ますと、八百七十一名の感染者中、特に十代以下が三百八十二名で感染者全体の約四十四パーセントを占めており、若い世代における感染が多く、更には、その家族へ感染が広がっている特徴がみられます。

このように、新型コロナウイルス感染症は身近に迫っており、誰もがどこで感染してもおかしくない状況が続いていることから、感染後の重症化リスクを少しでも下げするためにも、新型コロナウイルスワクチンの追加接種を引き続き進めていく必要があると考えております。

五月三十一日現在における本市の人口に対する新型コロナワクチン接種者の割合ですが、一回目接種を終えた方が約八十五パーセント、二回目接種を終えた方が約八十四パーセント、三回目接種を終えた方が約六十五パーセントとなっています。

また、国からは、三回目の接種の完了から五か月以上が経過した方で、六十歳以上の方や十八歳以上六十歳未満で基礎疾患を有する方などを対象とする四回目接種を九月末まで行うことが示されております。

本市におきましても、六月十七日頃から対象となる方に接種券を順次発送し、医療機関における個別接種については六月二十八日から、旧魚津市総合体育館での集団接種については七月十日から開始することとしております。

市としましては、常に国内や県内の感染状況について関係機関と連携し、情報収集に努めているところですが、今後も市民の皆様が安心して生活できるよう情報発信を行い、引き続き感染防止に取り組んでまいります。

次に、魚津市制施行七十周年記念事業について申し上げます。

去る四月十六日に、富山県新川文化ホールにおいて、魚津市制施行七十周年記念式典を挙行致しました。

当日は、市議会議員の皆様、名誉市民、富山県知事、国会議員に加え、地域や各種団体、企業などの代表者の皆様、更には友好・観光・文化等の連携都市の市長、市議会議長の皆様など約四百名のご臨席を賜り、市制七十周年の節目を共に祝うことができました。また、市制施行以降を写真で振り返る「市制施行七十周年記念写真展」を四月十五日から二十四日に新川文化ホールで開催したところ、期間中に千二十五名のご来場がありました。続いて四月二十四日には「第四十二回しんきろうマラソン」が、五月十四日から十五日には「第十回よっしや来い！！CHOUROKU祭り」が記念事業として開催されました。いずれも新型コロナ感染症の影響で過去二年間、中止あるいは規模を縮小して実施していたのですが、今回は、感染症対策を講じた上で実施したところ、市内外から多くの方に参加していただき、盛況のうちに終えることができました。

更に、これからは魚津の夏の風物詩である「第五十三回じゃんこい魚津まつり」を八月五日から七日に、「第三十六回全日本大学女子野球選手権大会」を八月二十六日から三十一日に記念事業として開催致します。

これらの記念事業はもちろん、これから実施致します事業を通じて、記念式典でもお誓い致しました、素晴らしい「ふるさと魚津市」を更に発展させ、未来に継承し、市民の「誰もが誇れる魚津市」を目指してまいりますので、

市議会議員をはじめとする市民の皆様におかれましては、ご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

次に、今般の物価等の高騰を含めた経済情勢について申し上げます。

五月二十五日に政府で「月例経済報告等に関する関係閣僚会議」が開催され、日本の景気の現状は「持ち直しの動きが見られる」と判断されたところです。

また、景気の先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待されるとしています。一方で、ウクライナ情勢の長期化などが懸念され、供給面での制約や原材料価格の上昇、金融資本市場の変動等による下振れリスクや感染症の長期化による影響などが懸念されるとしています。

政府においては、ウクライナ情勢などに伴う原油価格や物価の高騰等が国民生活や経済活動に及ぼす影響に緊急かつ機動的に対応し、コロナ禍からの経済社会活動の回復を確かなものとするため、四月二十六日に取りまとめた「コロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」」を実施することとしています。

本市におきましても、コロナ禍における今般の物価の高騰の長期化が、市民の生活、経済活動、行政活動などへ影響を及ぼすことが懸念されるため、国や県と歩調を合わせて、必要な対策を実施し、市民生活や事業者を支援してまいります。

それでは、本議会へ提出致しました議案について、ご説明申し上げます。

**議案第三十三号** 令和四年度魚津市一般会計補正予算は、歳入歳出予算の総額に三億八百八十八万二千円を追加し、歳入歳出予算の総額を、それぞれ百八十八億五千五十八万二千円と致したいのであります。

今回補正する主なものは、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業や子育て世帯生活支援特別給付金給付事業など、国の補正予算等を踏まえ、物価等高騰対策として取り組むべきもののほか、自宅待機者等支援事業や就労支援体制強化事業といった新型コロナウイルス感染症対策や、園芸産地スケールアップ事業や資料館収蔵品移設事業など、必要欠くことのできないものに限定し、計上致しました。

これらの財源として、国庫支出金、県支出金、寄附金、繰越金、諸収入及び市債を充当致しております。

予算以外の議案と致しましては、**議案第三十四号から第三十六号まで**、条例関係の議案と致しまして、魚津市議会議員及び魚津市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正など、一部改正を三件提案致しております。

最後に、報告案件と致しましては、**報告第二号から第三号まで**、令和三年度魚

津市繰越明許費繰越計算書などについて、二件報告致しております。

以上、本日提出致しました議案並びに報告の説明と致します。

何卒、慎重ご審議の上、議決をいただきますようお願い申し上げます。